

公立大学法人大阪府立大学 平成25事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会
(事務局 大阪府財務部行政改革課)

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会による評価を受けることとなっており、平成26年9月1日に開催された平成26年度第3回評価委員会において、平成25事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○大項目について、5項目のうち4項目がA評価（計画どおり進捗）、1項目がC評価（やや遅れている）であり、教育研究等の質の向上についても計画どおり進捗していることを確認した。

○委員会コメント

法人化以降、中期目標及び中期計画を着実に実施していることは高く評価できる。地方公共団体が設置する公立大学は、現代社会が直面する人口減少・高齢化などの諸問題に対して、高度な研究活動を展開し、特にその研究成果を社会に還元することが強く求められている。外部資金の獲得は順調に推移しているが、さらに地域との連携を強化し、互いの強みをいかしたプロジェクトを積極的に推進することが必要である。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
教育研究等の 質の向上	「計画どおり」進捗していることを確認					社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材の育成に向け、「博士課程教育リーディングプログラム」の採択を受けてのプログラムの実施や、高度人材育成プログラムの実施など、大学院における専門家養成の取組みを積極的に進めていると認められる。
	「地域貢献」及び「国際化」の項目はA評価に該当					地域貢献については、中小企業向けの補助金獲得支援や受託研究数の実績が順調に推移していること、「地（知）の拠点事業」（大学COC事業）について大阪地区で唯一の採択を受けたこと、公開講座数について年度計画を上回り実施したこと、「I-siteなんば」をスタートさせ、取組みを充実したことが評価できる。諸機関との連携の強化については、大阪府教育センター附属高等学校からの特別入試制度については、同校からの入学実績があった後に再検討することとしたが、対馬市との新たな産学官連携協定の締結、府内医療機関等への就職率の向上、大阪府立大学との連携事業等を多数実施したことは評価できる。
業務運営の 改善及び効率化	S	A	B	C	D	教員業績評価制度については引き続き試行実施となり、運用に遅れが生じているが、処遇反映に向けた協議等を継続するなど、本格導入に向けた取組みに努めていることは評価できる。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	教員数の配置について、平成26年度教員数670名程度を基本とする配置を目標としていたが、学士課程教育の再編により、平成24年度以降、学域（新カリキュラム）と学部（旧カリキュラム）の両方の教育課程が並存したこと、退職年齢の引き上げ（定年延長）により、目標を達成できなかった（平成26年度当初教員数686名）。引き続き退職者の不補充など教員の適正配置に向けた取組みに努めることが望まれる。
自己点検・評価及び 当該状況に係る 情報の提供	S	A	B	C	D	法人の基本情報について「データで見る公立大学法人大阪府立大学」としてまとめて学外公開したこと、自己点検・評価の結果について、改善計画を作成し、全学で取り組むなど、PDCA方式で取組みを推進していることは評価できる。
その他の業務運営	S	A	B	C	D	全体として計画どおりの進捗が認められる。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

※「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「国際化に関する項目」を除く）については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめた。